



くらしの中で50年  
ありがとう、これからもずっと。



生協ひろしま

# こーぷ ぱれっと

2022 **3** 月号

今月の表紙

コープ船越で開催された  
フードライブ活動「こどもた  
ちに笑顔と元気を届けよう!  
inコープ船越」の様子です。  
当日はたくさんの組合員さん  
から温かいご協力をいただき  
ました。

特集 **こどもたちに笑顔と元気を届けよう!** 商品クローズUP! **CO・OP** ロースハム



コープ商品  
を買って  
**元  
気**  
を  
届けよ  
う  
こどもたちに  
**笑  
顔**  
と  
元  
気

こどもたちに笑顔と元気を届けよう!  
**フードライブ対象商品**  
11(土)・12(日)  
10:00~14:00  
みなさまのご協力!  
おねがいします!

こどもたちに  
笑顔と元気を届けよう!  
12/11(土)・12日(日)  
10:00~14:00  
inコープ船越

フードバンク  
**ゆるテイ**  
NPO FOOD & WORK

# こどもたちに 笑顔と元気を届けよう!

昨年12月11日(土)・12日(日)、コープ船越で生協ひろしま独自のフードドライブが開催されました。合言葉は「コープ商品を買って こどもたちに笑顔と元気を届けよう!」。組合員理事さんを中心に、フードバンクや子ども食堂の皆さんの協力で実現した取り組みを紹介します。



## 組合員さんの想い

### 子どもたちに寄り添いたい

「子どもの未来アクション(日本生協連主催)」の学習会に参加し、貧困な子どもたちの社会課題を学ぶことができました。その中で強くなったのが「学習するだけでなく、実際に行動したい」という思い。今回は、他県の生協の事例を参考に、コープ船越で独自のフードドライブを実施しました。「人の役に立ちたい」という組合員さんは多く、437点もの商品が子ども食堂に届けることができました。今後も、より多くの組合員さんに参加してもらえ企画を考え、実践していきたいです。

### お店から支え合いの輪を広げます



組合員理事 ぐらしの活動担当理事  
(左から)菅原 陽子さん、大内 佳子さん、大槻 まゆみさん

## 地域のフードバンクと連携

フードバンク「ゆるティ」は、広島市安芸区や海田町、熊野町、坂町を中心に活動する団体です。地元企業や小売店、農家などから、食べられるのに廃棄される食品を引き取り、福祉施設などへ届けています。生協ひろしまからは「ゆるティ」へ、コープ船越や海田支所から、売れることはできなくても安全に食べられる商品(規格外、パッケージ破損など)を寄贈してきました。

生協ひろしまの組合員理事の皆さんは、子どもたちに笑顔と元気を届けたいと、子ども食堂への食品提供を計画。そのために「ゆるティ」、子ども食堂を運営するボランティアグループ「スマイル」と連携しました。提供方法としては、生協ひろしま独自のフードドライブを企画。子ども食堂から要望のあった品々を店頭に並べ、組合員さんに購入してもらい、商品を提供することになりました。

## 地域に交流の場を

子ども食堂とは、地域の子どもの保護者が、無料または低価格でごはんを食べられるところ。広島県内でも各地で開設されています。特長は、手作りの温かい食事を、アットホームな雰囲気の中で食べられることです。人と人とのつながりが希

## 子ども食堂の想い

### みんなの「居場所」を作りたい

船越公民館で月に1回「子ども食堂いわたきっ子」を開催しています。子どもたちが元気に食事をする姿を見るのは、本当にうれしい!今回は組合員さんにお米や大豆、ひじき、チョコレートなどを提供してもらいました。おかげさまで子どもたちに充実した食事を食べてもらえ、心から感謝しています。近い将来、年齢を問わず誰もが集まれる「居場所」を作るのが目標。食を通じてふれあいの場を作りたいですね。

栄養と愛情たっぷりの料理を作っています



ボランティアグループ「スマイル」  
(左から)島山 保子さん、東 路子さん

## フードバンクの想い

### 必要な人に必要な食品を届ける

ご家庭にあり安全に食べられる食品を提供してもらい、必要としている人に届けるのが一般的なフードドライブです。ただ課題となっているのが、提供される食品と、求められている食品がマッチせず、結果として廃棄される食品が出てしまうこと。今回の生協ひろしま独自のフードドライブでは、必要な人に必要な食品を届けることができました。地域の中で助け合いの輪が広がる、非常に意義のある取り組みだったと思います。また組合員さんに、私たちの活動を知ってもらう機会になったことも、ありがたかったです。

## 地域コミュニティを 食でつなごう



NPO法人FOOT&WORKフードバンク「ゆるティ」  
(左から)中丸 光弘さん、宮里 直美さん、岩井 智美さん、大内 賀江さん

## 生協ひろしまの フードドライブの流れ

01 店舗のフードドライブコーナーで「子ども食堂に贈りたい商品」を選びます。

子ども食堂のスタッフの皆さんにヒアリングして必要とされている商品を陳列。



02 該当商品のバーコードチケットを取り、レジで代金を支払います。



組合員さんが購入した商品は生協ひろしまが預かります

03 組合員さんが購入した商品は、生協ひろしまが後日、子ども食堂へ届けます。

届けられた商品を子ども食堂のスタッフが調理。地域の子どもたちに食事が提供されます。



## コープ委員長会は バザーの売上を寄付しました

安芸区・海田合同コープ委員長会は、毎年コープ船越でバザーを開催しています。2020年はコロナ禍で休止しましたが、2021年はフードドライブと同日に実施。組合員さんの協力で集まった28,032円を、「ゆるティ」へ寄付しました。



(左から)安芸区コープ委員長会  
代表 横山 裕美子さん、  
スタッフ 上林 登茂江さん

薄になり、孤立し、一人で悩みを抱える人も多い現代社会。子ども食堂はさまざまな人がつながり、交流する場として期待されています。「ゆるティ」や「スマイル」の皆さんが目指すのも、地域の「居場所づくり」。子どもだけでなく、誰でも集まれる場所を作りたいと考えているそうです。今回は、組合員理事の皆さんと「ゆるティ」「スマイル」の皆さんの想いが一つになり、フードドライブが実現できました。今後も他の店舗や宅配事業での開催に向けて、検討を続けていきます。